

韓国、大邱韓医大学校における韓方医学及び看護短期研修プログラムの開発

鳥越郁代* 加藤法子* 松井聡子* 許 棟翰**
芋川 浩* 清原智佳子* 松浦賢長*

Development of Korean Medicine and Nursing Short-term Program in Daegu Haanny University, Korea

Ikuyo TORIGOE Noriko KATO Satoko MATSUI Hur DONHAN
Yutaka IMOKAWA Chikako KIYOHARA Kencho MATSUURA

Abstract

This research was carried out as a project study in 2016–17, and it aimed to develop an international study program to enhance student learning motivation in specialized fields. The research was conducted in collaboration with teaching faculty at the College of Korean Medicine and staff of the International Education and Exchange Center (IEEC) at Daegu Haanny University (DHU) in Korea. In 2016, we visited DHU and discussed educational exchange with respect to learning in specialized fields: information was shared regarding the present curricula in the nursing departments of DHU and Fukuoka Prefectural University with teaching faculty of the Department of Nursing at DHU. In 2017, we visited DHU again: in conjunction with teaching faculty of the College of Korean Medicine and staff of IEEC, we developed a plan for Korean medicine and nursing short-term program in DHU.

Key word: International exchange, Overseas study, Korean medicine

要 旨

本研究は、2016年～2017年にわたり実施したプロジェクト研究であり、韓国、大邱韓医大学校韓方医学部（韓医学科・看護学科）の教員ならびに国際教育交流センタースタッフとともに専門分野の学習意欲を高める国際研修プログラムの開発を行うことを目的とした。2016年度は、本学と交流協定を結んでいる大邱韓医大学校を訪問し、看護学科教員、国際教育交流センターのスタッフと会議をもち、現行の教育カリキュラムについての情報交換を行いながら、専門分野を学ぶ教育交流に向けての意見交換を行った。2017年度は、前年度の会議の合意をもとに、韓方医学部関係者と「専門分野を学ぶ短期研修プログラム」について協議し、「韓方医学及び看護短期研修プログラム」を開発した。

キーワード：国際交流、海外研修、韓医学

* 福岡県立大学看護学部
Faculty of Nursing, Fukuoka Prefectural University

** 福岡県立大学人間社会学部
Faculty of Integrated Human Studies and Social Science, Fukuoka
Prefectural University

連絡先：田川市伊田4395番地
福岡県立大学看護学部
鳥越郁代
torigoe@fukuoka-pu.ac.jp

緒言

福岡県立大学では、2015年度より全学横断型教育プログラムの1つとして「国際交流プログラム」に取り組んでいる。本プログラムのキャッチフレーズは「Think Globally, Act Locally 留学すれば世界が“全く”変わる」というものであり、1年生次から4年生次までの教育段階を踏まえた内容構成としている。このプログラムは福岡県未来人材育成ビジョンと連動しながら、5つの力、すなわち①他文化を尊重する力、②多様な価値を認める力、③郷土を知り、愛する力、④臨機応変に対応する力、⑤中国語・韓国語で表現する力を卒業までに身につけ、グローバル人材として社会に輩出することを目的としている。

現在本学で実施している国際交流プログラムには、本学と交流協定を結んでいる大学（中国1大学・韓国3大学）との1年間の交換留学プログラムがある。しかし、近年の交換留学プログラムへの応募希望者は8名（2013年）から3名（2017年）と減少傾向にある。日本の学生が全体として内向きであることは指摘されているところであるが¹⁾、これに加えて、本学の場合、専門的職業人の養成に力点を置いていることから、看護師・社会福祉士・保育士など国家試験とそれに伴う実習、あるいは教員免許取得や公務員試験を考慮し、長期の留学に消極的な学生が少ないと思われる。また、本学では、英語および第2外国語は必修となっているためすべての学生が受講するが、国際的理解を深める科目については、全学共通科目（国際関係論）、専門科目（国際・災害看護論、国際協力論、国際教育文化交流論など）ともに、受講者数が少なく、学科によって受講者に偏りがあるのが現状である。このため、語学教育を受ける1・2年の学生の意欲と、専門科目を中心に学ぶ3・4年生の意欲とを「連携」させ「発展」させる教育機会が必要である。

上記の課題に対応するために、韓国の交流協定校と連携して、本学の学生に適合した短期研修のプログラムを2015年より実施し、国際交流プログラムの入口に位置づけることにした。この短期研修プログラムは、交流協定校との学生との交流と韓国の文化体験を通して、国際的視野を育むことを目的としたものである。今後この研修プログラムの評価をしながら、さらに本学の学生が、専攻する専門分野の学習を深めていけるようなプログラムとして発展させ

ていく必要があると考える。

2009年の看護基礎教育カリキュラム改正において「国際看護学」がクローズアップされるなど、今や看護職にとって国際的視点は欠かせないものとなっている。大邱韓医大学校は、韓方医学部（College of Oriental Medicine）の中に看護学科があり、看護教育の中にも東洋医学を取り入れた教育プログラムが含まれていると思われる。またその他にも、韓方バイオ産業学部や保健福祉分野系（ウエルネスコンバージェンス）学部など本学と類似した学部がある。そのため、本学と大邱韓医大学校とが連携して、専門分野に関する科目を学ぶ教育プログラムを開発し、学生に学ぶ機会を提供できれば、さらに学生の専門分野に対する視野は広がり、学習意欲を高めていくことにつながる事が期待できる。また英語能力の高い韓国の学生との交流を通して、国際的コミュニケーション力の必要性も学ぶ機会となる事が期待される。

以上の理由から、本学の国際交流推進部会では、まず海外交流協定校との教育交流を推進していくことを目的として、大邱韓医大学校韓方医学部看護学科との国際研修プログラムの開発に着手することになった。

本稿では、2016～2017年度にわたり、国際交流推進部会の担当メンバーが、大邱韓医大学校を訪問し、韓方医学部教員との「専門分野を学ぶ短期研修プログラム」についての協議を行い、「韓方医学及び看護短期研修プログラム」を開発した経緯について報告したい。

1. 現地訪問の概要

2016年度と2017年度に、国際交流推進部会の担当メンバーが、大邱韓医大学校ならびに韓方医学部（韓方医学科、看護学科）の実習施設である大邱韓医大学附属大邱韓方病院を訪問した。詳細なスケジュールについては、表1に示すとおりである。

2. 大邱韓医大学校（Daegu Haany University）の概要

韓国では、多くの大学が総合大学を大学校、学部を大学といている。大邱韓医大学校は、韓方医学（Korean Medicine）の専門医師を育成するために1980年に創立された私立の総合大学である。大邱韓医大学校は、3つのキャンパスがあり、大邱広域（テグコウイキ）市にSoosungキャンパス、大邱慶尚北道慶山（テグキョンサン）市に

表1 訪問スケジュール

期 間	スケジュール
2016年度 12月19日	10：00～12：00 大邱韓医大学校にて、専門分野を学ぶ短期研修プログラムについての打ち合わせ、看護学部間の情報交換 14：00～16：00 韓国式tea ceremony体験
2017年度 9月26日～27日	9月26日 14：00～17：00 大邱韓医大学附属大邱韓方病院ツアー 四象体質健康チェック
	9月27日 10：00～11：30 大邱韓医大学校にて、専門分野を学ぶ短期研修プログラム内容について検討 四象体質のミニレクチャー（看護学科教授 Ko Young Ji氏） 11：30～12：00 看護学部基礎看護演習見学



図1 韓国地図²⁾

Samsungキャンパス、Osungキャンパスがある。大邱広域市は、図1に示すように²⁾、韓国南部に位置し、ソウル、釜山に次ぐ韓国第3の都市といわれ、人口は約250万人である。

大邱韓医大学校は、韓方医学を学べる伝統校として評判の高い大学であるが、現在では、4学部（韓方医学、医科学、韓方バイオ産業、ウエルネスコン

バージェンス）25学科・専攻があり、韓国では、韓方、公衆衛生、医科学の分野において、専門性の高い総合大学として認識されている。看護学科は、韓方医学部に属しており、1学年85名で総数320名である。看護学科のレベルは、韓国では3番目とトップレベルであり、国家試験の合格率は、7年連続100%を誇っている。また大学院は、5大学院（一般大学

院、保健大学院、教育大学院、韓方産業大学院、社会開発大学院)から構成されており、学部と合わせて約7000名の学生、約70名の留学生が学んでいる³⁾⁻⁵⁾。

2014年に大邱韓医大学校は、教育省による“The University Specialization Project”(スポーツ医学専門トレーナー教育プロジェクトにおける韓方医学産業&“西洋と韓方医学のコンバージェンス”に関連した‘HAPPY AGING Expert Education Project’)に選出され、健康保健分野における韓方医学の専門家の育成を優先課題として掲げている。さらに美容用薬品科学の専門領域では、大学企業として韓方薬用化粧品(Korean herbal medical cosmetics)の製造を行い、韓方バイオ産業分野の推進を図ることによって、地域の経済界をリードする重要な役割を担っている²⁾。

最新の大学案内では、「革新的な3Eプロジェクトを通して、我々は、実践的で実地能力も備えた専門家を育成しながら、専門性の高い、競争的なキャンパスとしての大邱韓医大学を目指す」という大学のビジョンを示している(p.6)⁴⁾。3Eプロジェクトとは、‘Education’、‘Employment’、‘Entertainment’を学生のキャンパスライフの調和を図るための重要な要素としてとらえ、社会のニーズに応じたグローバルな才能を育成しながら、学生のためにカスタマイズされたカリキュラムの提供を目指すプロジェクトである。また最近では、学生の実践上の資質を最大限に発揮させるために、メンター制、個別対応されたカリキュラム(tailored curriculum)、そして実践的ワーク(hands-on work)から構成されるOLE(On site Learning for Employment)教育システムを導入している。このシステムは、産学協働の新しいモデルを構築することを目的としているもので、社会や企業から要求される能力を育成することによって、学生にとっては、自身の就職につながり、企業側にとっては、有資格者の採用が可能となるという相乗効果を生み出すものとして期待されている⁴⁾。

また大邱韓医大学校は、世界22カ国83大学と交流関係をもち³⁾(2016年5月2日現在)、多くの学生の受け入れ、多様な研修プログラムを提供している。

福岡県立大学とは、2006年に交換留学生の交流協定を結び、本学では2008年から長期留学生を、2015年から短期語学研修の留学生の受け入れを行っている。

3. 大邱韓医大学校での韓国文化体験

メインキャンパスであるSamsungキャンパスのなだらかな坂道を上っていくと、伝統韓国式家屋(Traditional Korean Houses)があり、そこで韓国式Tea Ceremonyを体験することができる。韓国式Tea Ceremonyあるいは*darye*(タレ[다례]、茶禮)とは、韓国で行われている伝統的茶道の作法のことである。*darye*(茶禮)とは、「お茶を飲むための作法」あるいは「お茶の儀式」という意味があり、1千年以上を超えて韓国の人々の間で受け継がれてきたものである⁶⁾。我々も、韓国の民族衣装(hanbok)を着用し、さっそく韓国式作法の説明を受けながら、静寂な時間の流れの中で、韓国茶をいただいた(写真1, 2)。



写真1 韓国式家屋



写真2 韓国式Tea Ceremony

4. 専門分野の学習意欲を高める研修プログラムの検討

1) 研修プログラムの期間と内容

2016年12月19日に大邱韓医大学校を本学国際交流推進メンバー5名が訪問し、大邱韓医大学校の教員

(看護学科教員5名・日本語学科教員1名)・国際教育交流センタースタッフ(Byun Kyinamセンター長、Lee Da-Eun氏)と教育交流プログラム推進に向けての会議をもった。その会議において、意見交換、合意した内容は以下のとおりである。

大邱韓医大学校看護学科では、非常にタイトなカリキュラムになっているため、長期研修としての国際交流プログラムを検討することは困難である(看護学科の学生は、臨床実習が1,000時間あるので、1年間の派遣は現実的に難しい)。よって、今後、短期研修としての国際交流プログラムを検討していくことについて合意を得た。

この会議において、大邱韓医大学校は、健康保健分野における韓方医学の専門家の育成を優先課題として掲げており、看護学科でも韓方医学の基礎理論や韓方看護学の講義・演習をカリキュラムに取り入れていることを知った。そこで、本学からは、韓方医学の概論的講義や演習を含めた短期研修プログラムの作成を要望した。その要望に対し、韓方医学概論の講義(韓国語・英語)や病院施設の見学、そして附属病院との協議の上、韓方医学体験の演習などを含むことが可能であるとの返事を得た。ただしプログラムに参加する学生は、一定基準の韓国語、英語の語学能力の必要性が提示された。また短期研修プログラムの受け入れ時期としては、学生が夏休みとなる8月で調整することとなった(大邱韓医大学

校の学生は、7～8月、夏休みで帰省しているため、学生寮を利用することが可能である)。

さらに2017年9月26日～27日、「専門分野を学ぶ短期研修プログラム」の内容と時期を検討するため、大邱韓医大学校で韓方医学部教員(韓方医学科教員1名、看護学科教員6名)と打ち合わせ会議をもち、以下の返答が得られた。

〔短期研修プログラムの内容〕

- ・専門分野(韓方医学・看護学)を学ぶことは、韓方医学科と看護学科で協力して行えば可能である。研修期間については、まず3日間程度で実施し、受け入れ人数は、実習のことを考慮し、20名前後が妥当である。
- ・韓方医学概論(韓国語あるいは英語での授業)、また四象体質(韓方看護学の内容を含む)のミニレクチャーを企画することは可能である。
- ・学生同士の交流(例:テーマを決めて討論など)の時間を研修に組み込むことは可能である。
- ・今後、プログラム内容の詳細について、Kim看護学科長、Song韓方医学科長、国際教育交流センター担当者(Byunセンター長、Lee氏)とともに、検討していくこととする。

〔短期研修の時期〕

大邱韓医大学校では、臨床病理プログラム(韓方医学に関する理論、実習、病院ツアー)というものを実施しており、日本の医療福祉系大学の学生が8

表2 福岡県立大学 韓方医学&看護短期プログラムスケジュール

日付		時間	内容	担当	会場
1日目	2.5H	9:30-12:00	学科紹介と学生交流	看護学科	Samsung キャンパス
	昼食				
	1.5H	13:30-15:00	韓方医学基礎理論と構成	韓方医学科	Samsung キャンパス
	2H	15:00-17:00	韓方医学治療理論と実践 (灸、鍼治療、カップリングなど)	韓方医学科	Samsung キャンパス
2日目	1H	10:00-11:00	韓方看護の理解と介入	看護師長 Baek Ji Yeong氏	大邱韓医大学附属 大邱韓方病院
	1H	11:00-12:00	大邱韓医大学附属大邱韓方病院ツアー	国際教育交流センター	
	昼食・市内散策				
	1.5H	14:00-15:30	補完・代替看護介入 (腹式呼吸プラクティス)	看護学科 教授 Kim Gyeong Won氏	Samsung キャンパス
	1.5H	15:45-17:15	補完・代替看護介入 (フットケアセラピー)	看護学科 教授 Park Yeong Suk氏	Samsung キャンパス
3日目	1H	10:00-11:00	気功の実際的应用	韓方医学科	Samsung キャンパス
	1H	11:00-12:00	韓国ビューティーケア又はコスメティック (TBA)	韓方医学産業学部	Samsung キャンパス
	昼食				
	3.5H	13:30-17:00	韓国伝統文化プログラム	国際教育交流センター	Samsung キャンパス

月上旬から10日間の日程（2017年は、8月4日～14日）で参加している。本学の研修も同じ時期に合わせてほしいとの要望があった。本学の前期試験が8月上旬あるため、試験終了後からお盆前までの間で研修を調整することとした。研修費用ならびに通訳の手配については、今後検討していくこととなった。その後、Lee氏（国際交流教育センター）と研修プログラムについて、メールでの打ち合わせを重ね、2018年度に実施予定の「韓方医学&看護短期研修プログラム案」の決定に至った（表2）。

5. 大邱韓医大学附属大邱韓方病院（Daegu Oriental Hospital of Daegu Haany University）の訪問

2017年9月26日の午後から、大邱韓医大学校の実習病院である大邱韓医大学附属大邱韓方病院を訪問した。

大邱韓医大学附属大邱韓方病院は、1970年に開設された大邱圏域で唯一の大学附属韓方病院であり、幅広い韓方診療および代替医学を行う中心病院とし

て位置づけられている（写真3、4）。また、韓方が身近ではではない外国人にも医療を提供しており、日本からも多くの人々が韓方医療を求めて来院しているとのことであった。そのため、日本語のパンフレットも完備されている。

大邱韓医大学附属大邱韓方病院には、内傷センター、韓方免疫アレルギーセンター、韓方脊椎センター、韓方中風（脳卒中）センター、韓方癌センター、韓方美容整形皮膚肥満センター、韓方女性センター、健康増進センターの8つの診療科がある。中でもこの病院では、中風（脳卒中）および交通・労災事故の後遺症の治療に力を注いでいる。また、「病の兆しを予め治療する」という韓方医学の理念に基づき、各種韓方薬と西洋医学の医療機材を導入して先駆的な医療サービスを提供している。さらに、代替医学と食文化をリンクさせた四象体質診断と薬膳食を提供しており、日常生活における食事療法による健康管理にも定評のある病院である。

私たちは、病院の概要、韓方医療についてのビデオを視聴（日本語）後、韓方医学専門医より四象体質の問診方法、体質に応じた生活習慣、運動療法、食生活（体質に合う食べ物、体質に合わない食べ物）について説明を受けた。実際に、四象体質診断アンケートに答え（表3）、その結果に基づき個別的な体質診断と食に関するアドバイスを受けた。

四象体質医学（Sasang Constitutional Medicine）は、韓国の独特な代替医学であり、陰陽理論と儒教の思想に基づき、李濟馬（イ・ジェマ）（1837～1900）が『東医寿世保元（1894）』の中で提唱した体質医学論である。四象体質医学によると、人の体質は太陽人、少陽人、太陰人、少陰人の4つの体質に分けられる。四象体質医学では、体質ごとに独自の性格や内臓機能の特性を有する点から、それぞれの体質にあった食物摂取を奨励している（表4）^{7)~10)}。国際診療センター長である申愛淑（シンエスク）医師の説明によると、個々の体質にあった韓方薬の処方、韓方美容体験や薬膳食の体験を目的として、日本からも多くの人々がこの病院を訪れているとのことであった。

個別の四象体質診断と食に対するアドバイスを受けたあと、各部門の見学を行った（写真5）。薬剤部では、韓方の効能、副作用の説明を受け、百味筆筒の見学等を行った（写真6、7）。韓方薬は人がもっている先天的な自然治癒力を補強して抵抗力を向上し、五臓六腑の機能バランスを合わせて補瀉する方



写真3 大邱韓医大学附属大邱韓方病院

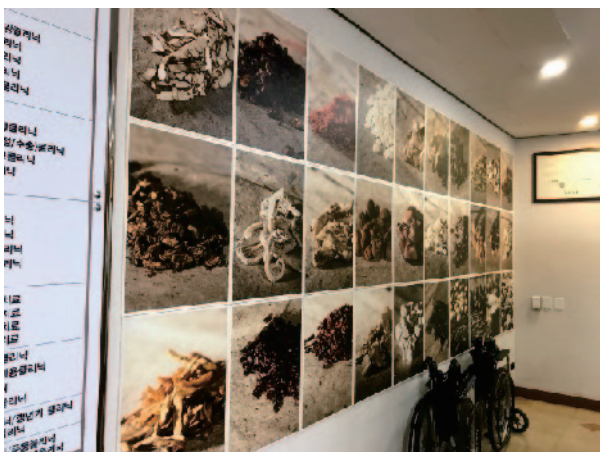


写真4 病院ロビー

表3 四象体質診断アンケート

区分	四象体質診断アンケート項目(次の4項目のうち該当する項目に☑ (チェック) してください)			
1. 体型	<input type="checkbox"/> 胸板が厚い方だ	<input type="checkbox"/> お尻が大きい方だ	<input type="checkbox"/> 頭が大きい、または首が太い方だ	<input type="checkbox"/> 腰回りとお尻が大きい方だ
2. 顔	<input type="checkbox"/> 顔が小さく、顎がとがっている方だ	<input type="checkbox"/> 目・鼻・口が顔のつくりに対して小さい方だ	<input type="checkbox"/> 額が広く頬骨が出ている方だ	<input type="checkbox"/> 目や鼻が大きく、唇が厚い方だ
3. 話し方	<input type="checkbox"/> 口数が多く、よくしゃべる方だ	<input type="checkbox"/> 口数は多くないが、親しくなるとよく話す方だ	<input type="checkbox"/> 口数は少ないが、誰とでも気軽に話す方だ	<input type="checkbox"/> 口数が少なく、あまり話さない方だ
4. 歩き方	<input type="checkbox"/> 歩くのが早く、体が揺れる	<input type="checkbox"/> 自然にゆっくりと歩く	<input type="checkbox"/> 背筋を伸ばし、堂々と歩く	<input type="checkbox"/> のそのそと歩き、ペースが遅い
5. 性格	<input type="checkbox"/> せっかちだ	<input type="checkbox"/> 普段から気が弱く、常に、不安を感じる	<input type="checkbox"/> どちらかといえば男性的な性格だ	<input type="checkbox"/> 忍耐があり、我慢強い
	<input type="checkbox"/> 気分屋だ	<input type="checkbox"/> 人前にはあまり出ない	<input type="checkbox"/> 知ったかぶりや自慢をすることが多い	<input type="checkbox"/> 考えが正しいと確信するまでは、簡単に話さない
	<input type="checkbox"/> 活動的で勇敢だ	<input type="checkbox"/> あまり飾らず、おとなしい	<input type="checkbox"/> 迷わず、決断力がある	<input type="checkbox"/> 品があり、形式を大事にする
6. 汗	<input type="checkbox"/> 体温が高く、汗かきで、特に顔に汗をかく方だ	<input type="checkbox"/> 普段から汗は少なく、他と比較しても少ない方だ	<input type="checkbox"/> 汗をかいたり、かかなかつたり差がある方だ	<input type="checkbox"/> 常に汗が多く、特に体に汗をかくことが多い方だ
7. よく感じる症状	<input type="checkbox"/> 物忘れがひどい	<input type="checkbox"/> ため息をよくついたり、手足が震えたりする	<input type="checkbox"/> 胸が苦しくて、詰まったようであったり、足に力が入らず長くあるけないことがある	<input type="checkbox"/> 動悸が激しかったり、目が疲れやすく痛いことがある
8. 体調が良くない時	<input type="checkbox"/> 便秘がちである	<input type="checkbox"/> 消化不良	<input type="checkbox"/> 小便をするとき不快感がある	<input type="checkbox"/> 汗をかくとすっきりする
9. 生活習慣および仕事の仕方	<input type="checkbox"/> やり始めた仕事を最後まできちんとできない方だ	<input type="checkbox"/> 1つの場所にしようとして、あまり歩かない方だ	<input type="checkbox"/> どんな仕事でも投げ出すことなく、やり遂げるほうだ	<input type="checkbox"/> 動くよりは、一人で静かに仕事を進めるほうだ
	<input type="checkbox"/> 早く仕事を処理する方だ	<input type="checkbox"/> 几帳面に仕事をする方だ	<input type="checkbox"/> 仕事をするとき、全体を把握することが速い方だ	<input type="checkbox"/> 根気よく粘り強く仕事をする方だ
10. 表現力	<input type="checkbox"/> 積極的に表現する方だ	<input type="checkbox"/> あまり表現しない方だ	<input type="checkbox"/> 強く主張する方だ	<input type="checkbox"/> 回りくどく表現する方だ
11. トラブルを起こしやすい食べ物	<input type="checkbox"/> 辛いもの、塩辛いもの、烏骨鶏、高麗人参のように熱が多いもの	<input type="checkbox"/> 冷麺、マクワウリ、スイカ、冷たい牛乳、冷菓など冷たいものや小麦粉料理	<input type="checkbox"/> 熱いものや、牛肉などの脂肪の多いもの	<input type="checkbox"/> 食べ物でトラブルが起きることは少ない

大邱韓医大学附属大邱韓方病院

表4 四象体質医学における4つの体質の特徴と体質別食品

特性	体質			
	太陽人 Tae Yang type (TY type)	少陽人 So Yang type (SY type)	太陰人 Tae Eum type (TE type)	少陰人 So Eum type (SE type)
過活動性内臓	肺	脾臓	肝臓	腎臓
低活動性内臓	肝臓	腎臓	肺	脾臓
性格特性	創造的、活発、積極的、カリスマ的、勇敢	情緒不安定、飽きやすい、献身的、誠実、短気、心配症	優しい、社交的、忍耐強い、ユーモラス、臆病者、こわがり症	几帳面、温厚、消極的、利己的、嫉妬深い、神経質
外観	発達した首筋、細い腰	発達した胸部、小さい臀部	厚い胸部、貧弱な首筋	発達した臀部、貧弱な胸部
健康な徴候	スムーズな排尿	便通が良い	発汗がある	消化が良い
不健康な徴候	筋骨格衰弱	便秘	発汗の欠如	消化不良
体質に合う食べ物	肝臓に負担がかからない脂肪分が少ないもので、体を冷やす性質の食べ物 *蕎麦、冷麺、柿、カリンなど	脾臓や胃に熱がこもりやすいため、刺激がある調味料や熱が上がる食べ物(鶏肉・高麗ニンジンなど)は避け、新鮮で冷たい野菜類や魚介類、海藻類 *麦、豚肉、生牡蠣、カニ、キュウリ、スイカなど	大腸の排泄機能を円滑にし、便秘を予防してくれる、食物繊維が豊富な根菜類 *小麦、玄米、サツマイモ、牛肉、わかめ、梨、キノコなど	脂肪分が少なく消化しやすい食べ物で、体を温める性質の食べ物 *もち米、ジャガイモ、りんご、みかん

Shim EB et al⁶⁾ (2008) p. 435

※「体質に合う食べ物」の内容については、大邱韓医大学附属大邱韓方病院の資料を基に作成した

法で病気を予防するものである。大邱韓医大学附属大邱韓方病院では、本草学(Phytology)教授陣の薬剤検収を通じて、薬効が豊かな原産地の最上級薬剤を厳選して使用している。健康増進センターでは、韓方健康評価の実施、ならびに未病状態や自律神経

の均衡度、活性度の評価を行い、個々人の肉体的、精神的特性を考慮した「個別健康増進」案の提示や韓方検査を元に本人にあう韓方薬を処方してくれる。



写真5 韓方美容整形皮膚肥満センター



写真6 百味箆筒



写真7 韓方薬

6. 四象体質医学についてのミニレクチャー

同日午後から看護学科Ko教授 (Professor. Ko Young Ji) による四象体質医学についてのミニレクチャーも聴講した。Ko教授は、それぞれの体質の生理学的特徴を説明した上で、四象体質医学と看護学の共通点について「人間に対する全人的観点」と「個別のアプローチ」であること、そして四象体質医学の養生法は、看護学の疾病予防や健康増進や生活の質と一致すると述べた。また四象体質と関連した国内の看護研究も行われているが、まだ不足している現状であることが報告された。さらに大邱韓医大学校の取り組みとして、新入生全員に教養科目である「健康ハーモニー」を通じて「四象体質検査」を行っており、その結果を学生たちにフィードバックしていることが紹介された。

大邱韓医大学校の看護学科では、2年生、3年生の専攻必須科目として「韓方看護学および実習」がカリキュラムに組み込まれており、その中で、学生は「韓方医学の基礎理論」や「四象体質概論」を学ぶとともに、「鍼灸」、「吸い玉」なども実習を通して経験することができる。なお実習は、3年生1学期に大邱韓医大学附属大邱韓方病院で実施されているということである。

7. 今後の課題

2016～2017年度にわたり、大邱韓医大学校の韓方医学部教員との協議を経て、「韓方医学及び看護短期研修プログラム」を開発した。本研修プログラムは、当初2018年8月に実施する予定で準備を進めていた。しかし、先方との最終調整まで至らず、今年度の実施は見送り、現在、次年度の実施に向けて交渉を進めている。

次年度に向けて、本研修プログラムを実現していくためには、まず大邱韓医大学校の研修プログラム担当者と早めにプログラムの日程調整を行うとともに、研修費用を含めた具体的なプランを確定しておく必要がある。また本研修プログラムでの韓方医学・看護に関する講義、演習は、基本的に韓国語で行われる予定であったため、韓国語の通訳の手配も事前に先方に相談しておくこと、そしてその雇用に伴う予算化についても検討しておく必要がある。

さらに、専門的職業人の養成に力点を置いている本学でこのような国際研修プログラムを推進していくためには、学生が留学先で履修した科目が単位認定につながるような単位互換制度を整備していく必

要があると考え。現在1年間の長期留学生には、この制度が適応されているが、今後、短期研修プログラムに参加する学生においても、単位認定につながるような研修内容について検討を重ねていく必要があると考える。

8. おわりに

今年は、本研修プログラムを実施するには至らなかったが、このプログラムは、韓方医学基礎理論や韓方看護の講義の他、代替・補完看護の実践も学ぶことができる内容となっている。本学の学生が、本研修プログラムに参加することによって、異文化における看護職の役割について考え、看護学に対する学習意欲の向上につながることを期待したい。また英語能力の高い韓国の学生との交流を通して、国際的コミュニケーション力の必要性も学ぶ機会となることが期待される。

なお、本研究は、2016年度～2017年度における福岡県立大学研究奨励交付金〈プロジェクト研究〉の助成により行ったものである。

謝 辞

今回の現地訪問にあたり、あたたかい歓迎とご配慮をしていただきました大邱韓医大学校国際教育交流センターの皆様、韓方医学部医学科、看護学科の教員の皆様に深く感謝申し上げます。

引用・参考文献

- 1) 太田浩. なぜ海外留学離れは起こっているのか. 教育と医学 2011 ; 59(1) : 68-76.
- 2) <https://www.travel-zentech.jp/world/map/korea/Maap-Korea-Province.htm> (2019年1月15日アクセス)
- 3) PDF ACHIEVE Your DrEAM In DAEGU HA

ANY UNIVERSITY - Study in Korea 2015.<http://www.studyinkorea.go.kr/.../srcFileDown.do?...Daegu%20Haany%20University%20A> (2018年8月16日アクセス)

- 4) Daegu Haany University Striving to cultivate health and Competent Talents. 2016. Daegu Haany University.
- 5) Daegu Hanny University. Study at Daegu. Daegu Haany University Admission Guide. 2017. International Education and Exchange Center.
- 6) Wikipedia, Korean tea ceremony.https://en.wikipedia.org/wiki/Korean_tea_ceremony (2018年8月16日アクセス)
- 7) Shim EB, Lee S, Kim JY, Earm YE. Physiome and Sasang Constitution medicine. The journal of physiological sciences 2008 ; 58 (7) : 433-440.
- 8) Kim JY, Pham DD. Sasang constitutional medicine as a holistic tailored medicine. Evidence-based complementary and alternative medicine 2009 ; Suppl 1 : 11-19.
- 9) 具燃和. 東洋医学の体質分類の思想である四象医学 (Sasang Constitution Medicine) について. 純真学園大学雑誌 2015 ; 5 : 103-108.
- 10) Shin S, Kim YH, Hwang MW. Diagnosis and treatment principle in Sasang medicine: original symptom. Integrative medicine research 2016 ; 5(2) : 99-104.

受付 2018. 9. 1

採用 2018. 11. 21

